

令和4年第4回さくら市議会定例会一般質問順番

令和4年12月13日(火) 午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	大河原 千 晶 議員
2番	笹 沼 昭 司 議員
3番	岡 村 浩 雅 議員
4番	加 藤 朋 子 議員

令和4年12月14日(水) 午前10時～ 3人

質問順番	質問者名
1番	角 田 憲 治 議員
2番	加 藤 誠 一 議員
3番	若 見 孝 信 議員

1. 子育て世代をとりまく環境の整備について

- ①本市には、ゆうゆうパーク、さくら市総合公園など、広大で自由に遊べる公園があり多くの人に親しまれているがいずれも氏家地区である。喜連川地区にはジョイフルブルーパークもあるが、10月からは観光の拠点としてキャンプ場としての利用も開始されたため、公園としての利用が制限されると感じる。そういったことから喜連川地区にもゆうゆうパークのような公園が必要と考えるが。
- ②さくら市に転入された新住民がこの地で出産等をした場合、子育てに関する情報を得たい場合の情報提供の環境はどう整備されているか。
- ③1歳までの子育てに関する物資の無料配布を検討されていると思うが、物資の種類や配布方法などについて、引換券として保健師を通して進呈するのはどうか。

答弁を求めるもの 市長

2. 公共交通について

- ①通院コンタ号の終了時間が現行だと、午後の診療時間に間に合わないという利用者の声があるが、延長することはできないか。
- ②デマンド乗り合いタクシーの休日運行はできないか。
- ③「Maas」のような取り組みがさくら市でもできないか。

答弁を求めるもの 市長

3. コロナウイルス感染拡大防止による各施設の縮小状況について

感染拡大防止に伴い、市内のさまざまな施設で営業時間や開館時間等の短縮や、利用制限があったが、現在はどのような考えのもと運営されているのか。

例えば、さくら市総合公園のプールは今年度も休止されたが、同じプールでも真岡の一万ヶ所プールなどは営業再開された経緯もある。さくら市ではどのような理由が休止の要因だったのか。また、道の駅きつれがわ、もとゆ、などコロナ禍以前の営業時間から短縮されたが、今後営業時間は戻るのか。

営業時間が短縮された道の駅の温泉施設の年間パスポートを購入されている方へのフォローはあるのか。

答弁を求めるもの 市長、教育長

1. 所有者不明土地の把握について

人口減少、少子高齢化の中で、不動産登記簿等を見ても土地の所有者が分からない、またわかって連絡のつかない所有者不明土地が日本には九州地方ぐらいの面積があると報道がありました。土地の相続人が所有者の変更について登記簿に記載する義務がないことが原因だと思いますが、そこで伺います。

- ①市内における現在の所有者不明土地の筆数は。
- ②相続人不明等による現在の所有者不明土地の固定資産税賦課件数と金額は。
- ③所有者不明土地が公共事業の妨げとなった事例は。
- ④先月施行された「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の一部を改正する法律」の概要と活用は。

答弁を求める者 市長

2. 所有者不存在の危険家屋の除却について

所有者不存在の固定資産税については、名宛人は誰に対して課税し、徴収できなかった税についてはどのように処理しているのでしょうか。また空き家は長年放置すれば必ず危険家屋となり、近隣住民や地域住民の安全な生活を脅かすことが予想され、景観上も悪い影響が出ることは明らかであります。そこで伺います。

- ①所有者不存在空き家に対する課税の取扱い
- ②市が、空き家の財産管理人選任の申立を行えば、境界確認や所有者不明の空き家の解体や処分もできるようになると考えますが、どのような条件が必要になるのでしょうか。

答弁を求める者 市長

3. 無縁墓について

近年、人口減少や少子高齢化、過疎化等による社会の変化に伴い、終活や墓じまいということを聞くようになりました。また墓地には縁故者や継承者がいないなお墓も見られます。お寺の境内では墓地の管理費を滞納しているケースもあり、滞納処分としてお墓の撤去も行われるようになりました。さらに子孫の負担にならないよう合葬、散骨、樹木葬なども選ぶ人もいます。そこで伺います。

- ①身寄りのいない方が亡くなった場合の墓地の手当は。
- ②市営墓地の無縁墓と墓の返還の状況は。
- ③墓地の返還がなされた場合の再整備と販売は。
- ④身寄りのいない方が亡くなった場合や無縁墓からの遺骨の改葬、合葬の最終収納場所としての公的なメモリアル記念碑または塔などが必要になるのではないかと思います。見解を伺います。

答弁を求める者 市長

4. 学校の運動部活動の地域移行について

スポーツ庁は、第3期スポーツ基本計画を策定し、令和4年度から実施しています。本計画では、持続可能な部活動と教師の負担軽減を目的として、現在の学校部活動、特に運動部活動を現行の学校活動から地域移行するとされています。休日の運動部活動については、令和5年度から令和7年度末までを目途に地域移行することを基本とするとあります。これを踏まえて現状と対応について伺います。

- ①地域移行する場合、指導者、施設の確保はどのように考えていますか。
- ②卓越した指導者、実業団、スポーツクラブなどの団体による部活動の指導には人件費、保険料、旅費等が発生すると考えますが、保護者の負担軽減を考慮した財源の確保は。
- ③現行では土・日曜日に各大会が実施されていますが、スタッフの確保、参加資格を含め、今後の大会の在り方はどうなるのでしょうか。

答弁を求める者 市長、教育長

5. みどりの食料システム戦略及び農業者支援について

農林水産省は昨年、2050年までに目指す姿としてみどりの食料システム戦略を策定し、①有機農業を農地の25%に拡大、②化学農薬を50%減、③化学肥料を30%減などを発表しました。有機農業は、基本的に化学的に合成された肥料や農薬を使わず、環境への負荷をできるだけ減らし、その土地での物質の循環を重視する環境にやさしいイメージがありますが、堆肥だけで土壌の養分バランスを整えるのは難しく、技術が確立されていないところがあって、難易度が高いと思われます。

そこで、農薬と肥料を減らしたときの収量や品質をどのように確保していくのでしょうか。今後の市の取組みを伺いたいと思います。

また、本年度の国の予算においては、主食用米の中長期的な消費減少を踏まえ、米の需給安定を図るため『水田活用の直接支払交付金』による転作支援について輸出用米や高収益畑作物への作付転換を進めるべく、産地交付金による飼料用米等への転作支援の加算措置を原則廃止するとともに、今後5年間に一度も米の作付けを行わない農地を交付対象外とする等の見直しを実施しました。飼料用米は依然、転作の柱であり、急激な方針転換は困難であります。水田・日本農業を維持し、農業の持つ多面的機能や食糧安全保障の観点から、経済重視路線に偏らず、小農維持も必要と考えます。

市長は農業用資材等高騰対策事業や主食用米作付農家支援助成事業を行ってきましたが、一定の基準を設け、産地交付金並みの本市独自の補助金を考え、持続可能な地域営農に手を差し伸べてはどうかと思いますがいかがでしょうか。

答弁を求める者 市長

1. 公共交通の課題と今後の方向性について

現在デマンド交通が市内全域で運行されているが、「時間がかかる」「市外病院へは乗り継ぎが必要で通院に多額の費用がかかる」等の課題も多い。そこでこれらの課題にどのように取り組んでいくのか。また、グリーンスローモビリティや自動運転バス等の実証実験も全国で行われていることから、将来的に本市での導入も見据えて考えて行くべきであるが、本市の取り組みについて伺う。

- ①広報さくら本年1月号、市長が年頭の挨拶でもふれた「温泉バスの路線バス化」の進捗状況は。
- ②下野市では昨年4月より、AI(人工知能)を使った配車システムを導入し、新規登録車が大幅に増加した。本市でも導入したらどうか。
- ③令和2年3月策定の「さくら市地域公共交通網形成計画」p.114～117の課題解決には具体的にどのように取り組んでいくのか。
- ④全国で実証実験が行われているグリーンスローモビリティの導入や自動運転バスなども検討してはどうか。

答弁を求める者 市長

2. 防災力強化のための取り組みについて

毎年全国のいずれかの地域で大雨による土砂災害・河川氾濫等の被害が報告され、本市においても令和元年の台風19号による被害が記憶に新しい。コロナ禍も相まって特に避難所運営には課題も多い。そこで本市における、防災・減災対策、避難所運営に関する取り組みについて伺う。

- ①来年度以降市内河川への監視カメラ設置についてはどのように考えているか。
- ②地域の防災力強化のために防災の専門家である「気象防災アドバイザー」を本市でも活用したらどうか。
- ③来年度以降の避難訓練はどのように行う予定か。また、夜間の避難訓練を行う考えはあるか。
- ④避難所においては、段ボールベットが推奨されているが現在の備蓄状況は。今後増やす予定は。
- ⑤車での避難において、エコノミークラス症候群予防のために弾性ストッキングを備蓄品に加えたらどうか。
- ⑥災害用簡易トイレの備蓄状況は。総務省消防庁緊急減災・防災事業債が利用できる「助けあいジャパン みんな元気になるトイレ」を活用してはどうか。

答弁を求める者 市長

3. 指定ごみ処理券（ごみ袋）について

市民からはごみ袋の価格に関するものや使い勝手の問題など様々な意見を頂く。もっと使いやすいごみ袋となるよう本市（塩谷広域行政組合）での取り組みについて伺う。

- ①現在の 40ℓ400 円、30ℓ300 円、20ℓ200 円の価格、材質容量等の規格設定の根拠は。
- ②現在のごみ袋は取っ手の部分(縛る部分)に伸縮性がなく無理に引っ張るとちぎれてしまう。また市販のごみ袋用ペール（ポリ容器）は 45ℓ用が一般的で 40ℓごみ袋を設置しづらい。そこで材質や規格などを見直してはどうか。

答弁を求める者 市長

1. 教育行政について

①校則の在り方について

昨今行き過ぎた校則が、生徒の多様性を否定したり、人権を損ねたりするケースがクローズアップされているが、当市の現状を問う。

②部活動指導について

教職員の長時間勤務は部活動指導に拠るところが大きいですが、当市の現状と今後の対策について問う。

③重いランドセル解消策は

背負うランドセルが重いため、子どもたちの登下校での負担は大きく、またいざと言う時に重いランドセルを背負って危険を回避することもままならないと考える。当市の現状と対策は。

答弁を求めるもの 市長、教育長

2. 子育て支援について

①保育現場での加配について

近年発達障害もしくはグレーゾーンなどケアが必要な子どもの増加が顕著である。加配を付けると、市の補助金では人件費に満たず、施設の持ち出しとなっている。子どもたちの健全育成のためには十分な人員配置と手厚いケアが必要であり、加配の要件の見直しや、補助金額の引き上げが必要と考えるが。

②ヤングケアラー

先日栃木県の一斉調査が行われたが、その結果を踏まえて、市として今後どのような対策を取っていくのか。

③インクルーシブ公園

インクルーシブ公園とは、障害を持つ子ども持たない子ども、同じ目線で遊べるユニバーサル遊具を設置する等、様々な工夫を凝らした公園を指す。2020年に東京都の砧公園内に「みんなのひろば」がオープンしたのを皮切りに、全国に広がっている。市でも設立する考えは。

答弁を求める者 市長

1. 公務員の守秘義務について

昨今、公務員退職者の守秘義務に反すると思われることがあるように思われます。
公務員の守秘義務について次の3点について伺います。

- ①守秘義務とはどのような範囲なのか。
- ②違反した場合の罰則はあるのか。
- ③既に退職した場合の人には、どの機関が調査するのか。

答弁を求めるもの 市長

2. さくら市議会議員選挙をふまえて

令和4年11月13日に執行されたさくら市議会議員選挙について次の3点について伺います。

- ①今回の投票状況をどう考えているのか。
- ②選挙公報の発表時期について、告示日から発表まで日数がかかったが何故遅れたのか。
- ③選挙ポスター掲示板の設置について、設置場所は検討しているのか、また、掲示板を管理しやすくするために番号を付けると良いのではないか。

答弁を求めるもの 市長、選挙管理委員会委員長

1. 市長の説明責任について

政治家にとって説明責任は義務だとも言えるが、市長は市政執行にあたっての説明責任についてどう捉えているか。シティプロモーション事業で島田恭子氏作の陶板「朧」を購入する際、市長はいつ、どのように説明してきたのか、また、購入にあたり「どういう効果を期待したのか」、「今どういう成果が上がっているのか」、「これからどう生かしていくのか」お伺いします。

答弁を求める者 市長

2. 市道の整備について

市道 U1-20 号は 1 日を通し交通量も多く、特にさくらスタジアム周辺道路(市道 U1448 号、1453 号)と交差する区間については通学路と重なる路線であり、また今の時期、日没も早く照明設備も含め安全対策が求められる。現在市道 U1-20 号のザ・ビックエクストラからさくらスタジアム付近の区間については歩道を整備する計画を進めているということであるが、現状と周辺道路も含めて整備計画はどのように進めるのか。

答弁を求める者 市長

1. さくら市総合公園のドックラン整備について

荒川水辺公園と鬼怒川河川公園にはドックランが整備されていますが、コロナ禍により屋外レジャーの需要が高まっている中でさくら市総合公園にドックランを整備してほしいとの市民の声がたくさんあります。

いろいろな世代に愛されて飼われている犬と飼い主がのびのび遊べる場所を提供するドックランは同世代・異世代に共通するコミュニケーションツールとしても非常に有用であり、本件については積極的に検討すべきではないかと思いますが、市の考えをお伺いします。

答弁を求める者 市長

2. 今回のさくら市議会議員選挙の投票率について

今回のさくら市議会議員選挙の投票率は前回から大きく低下し45%を下回る結果となりました。

この投票率低下について、市として何が原因であると分析しているのかお伺いします。

答弁を求める者 市長、選挙管理委員会委員長

3. さくら市内の太陽光発電建設について

さくら市では非常に多く太陽光発電施設建設が行われていますが、景観を損ねているとの地元の方の声も聞こえるところでもあります。

太陽光発電施設建設に関して規制あるいは調和のための条例を導入する自治体は増えていますが、さくら市は市として何らかの関与をしているのか。また、今後関与していく考えはあるのかお伺いします。

答弁を求める者 市長